

おおいけ ひやくほつと  
**大池の百八灯** 千曲市八幡大池（市無形民俗文化財）

松代藩、初代城主・真田信之の妻、小松姫の亡き後、送り盆の日（8・16）に、百人の煩惱の数の灯を焚いて供養するという習わしが今も継承されている。小松姫は徳川家康の養女で、この地は信之に嫁いだ際に幕府より与えられた。後に「大英寺」領となつてから（1662）、行われるようになった。



107個のわら束が並ぶ



108番目は巨大な火柱

